

第4回 苗場山麓ジオパークガイド認定検定(初級) 20180324

問題番号	正答	コ メ ン ト
1	B	地形・地質の土台に生きる、植物・動物の生態のことをいいます。
2	A	平昌は、緯度で言うとソウルよりも南にあり、北緯37.7度とみられます。
3	C	ハンドブックのp.4頁参照
4	B	ハンドブックのp.2頁参照、植物や動物、岩石鉱物はむやみに採取してはなりません。
5	B	ハンドブックのp.1頁参照、「自然」の文言が入ります。
6	A	あまり聞きませんが、山伏山の森林公園が正解です。
7	C	貝化石が多く産出します。まれに魚の化石やウニの化石などが見つかりました。
8	D	苗場山麓では、ヤブツバキはみつかりません。
9	A	ずばり、Aが正解、Dの平成3年は明らかに誤り。
10	D	見倉橋及び周辺の景観は風情があります。
11	B	写真は、ユキツバキです。多雪地に適応したツバキです。
12	C	写真から判断できるとよい。正解は蛇淵の滝です。
13	A	まぎらわしい選択肢ですが、正解はエゾスグリです。
14	D	秋山郷の名称の由来になった集落です。
15	A	激しい鳥甲山の火山活動の結果できた露頭とされます。
16	A	異質な植物として、浜辺の植物、ハマナスがあがります。
17	C	苗場山麓では、Cのタンチョウは見つかりません。
18	A	絶滅が心配されるのは、カンアオイにたよるギフチョウが正解。
19	A	結束層がすぐに言えますね。
20	D	河岸段丘のでき方と火山活動は、直接関係ないと考えられます。
21	B	一番古い段丘面と、新しい段丘面は知っておこう。
22	D	千体仏をつくる岩石は、玄武岩(安山岩)と考えられます。
23	B	地層のできた年代は難しいですが、ハンドブックによれば、Bが正解です。
24	B	マンモスがすぐに連想できるとよい。なじょもんの玄関付近に古型マンモスのオブジェがあります。
25	C	津南と十日町市(中里地域)との境界付近の滝です。
26	B	SK030 といえば、董青石ですね。
27	A	ずばり、毛無火山の産物です。
28	D	異色の山はすぐわかりますね。Dの妙高山です。
29	B	柱の長さは100mに近い高さです。
30	C	池塘の雰囲気は苗代のイメージを醸し出す。
31	B	ずばり第二期の溶岩流です。石落しの柱状節理は見事です。
32	D	笹山遺跡は、十日町の遺跡です。
33	A	鉄平石は、十日町東部の魚沼丘陵の楯形火山の活動でできた平たい溶岩です。
34	D	D以外は、雪が降る原因と考えられています。
35	A	溶岩のすきまをじっくりと浸透してきた水が湧水のもとです。
36	D	Dの源義経は誤り、木曾義仲が正解。
37	C	火焰街道と呼ばれる千曲・信濃川沿いに、特徴的な土器が製作された。
38	D	土偶も出土している。
39	B	米原面上につくられた城です。
40	D	Dの山本清佐エ門でなく、宮本清佐エ門が正解。
41	A	まぎらわしい名前に注意。
42	C	ポンプで引くのは時代的にないでしょう。
43	A	苗場山麓には、石灰岩の地盤は見つかりません。
44	D	宿泊を目的にしていない。
45	A	気象要素の記録はない。
46	D	ずばり、みれば推測できます。
47	D	溶結凝灰岩は有限の遺産です。加工し商品として販売することは持続不能に陥ること。
48	A	紛らわしい選択肢だが正解はAです。
49	記入	受検の動機をお聞きました。
50	記入	自由にお書きください。